



2021
CAMPUS GUIDE

SCHOOL OF ENGINEERING

● Department of Electrical Engineering and Computer Science ● Department of Materials ● Department of Applied Chemistry ● Department of Chemical Engineering
● Department of Interdisciplinary Engineering ● Department of Mechanical Engineering ● Department of Aeronautics and Astronautics ● Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering
● Department of Naval Architecture and Ocean Engineering ● Department of Earth Resources Engineering ● Department of Civil Engineering ● Department of Architecture

KYUSHU
UNIVERSITY

九州大学工学部



九州大学工学部で専門力を培い、 自らの可能性にチャレンジしませんか



今年(2021年)4月に九州大学工学部は新たなスタートを切りました。新設の融合基礎工学科と量子物理工学科を含む12学科編成となり、各学科においては、学部4年間と大学院修士課程2年間を連携させた6年一貫を基本とするカリキュラムによる教育を始めております。新しいカリキュラムで学ぶ学生は、1年次は工学系全分野で共通して修得すべき理系基礎科目を学ぶと同時に、今後の高度情報化社会における技術者・研究者には不可欠な情報基礎の知識を修得することになります。直近の10年間では、工学部を卒業する約800名の学生の85%が大学院修士課程に進学しておりますが、旧カリキュラムの学生も、この6年一貫型カリ

キュラムの根幹となる理念(他分野も学ぶ柔軟な姿勢、情報リテラシー修得、国際性の涵養)に基づく教育の中で学び、実社会に羽ばたいていくことになります。

九州大学工学部は、1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として創立され、日本で有数の長い歴史を有しています。その後、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至りますが、西日本における拠点大学の基幹学部として先導的研究と充実した工学教育を担い続け、これまでに約50,000名の卒業生を送り出し、我が国の工学技術・産業の発展に貢献してきました。

～100年の歴史と伝統、そして新キャンパスから未来へ～

1911年(明治44年)に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。100年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス(福岡市東区)に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャンパス移転構想の第一陣として

2005年(平成17年)10月から伊都キャンパス(福岡市西区)へ移転を開始し、2007年(平成19年)3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。

CONTENTS

学科一覧・入学から卒業までの流れ	03
入試情報	05
工学部生からの一言メッセージ	06
座談会	07
電気情報工学科	11
材料工学科	12
応用化学科	13
化学工学科	14
融合基礎工学科	15
機械工学科	16
航空宇宙工学科	17
量子物理工学科	18
船舶海洋工学科	19
地球資源システム工学科	20
土木工学科	21
建築学科	22
サークル紹介	23
留学プログラム	24
卒業生メッセージ	25
就職先リスト	26



九州大学工学部の卒業生は、様々な企業で技術開発の中心的役割を果たし、産業界から非常に高い評価を受けています。我々が今後も基礎教育を重視していく姿勢に変わりはありませんが、グローバル化が加速する現在の社会情勢を鑑みて、今後は、国際的に活躍できる人材・世界を主導できるリーダーとなりうる人材を育成していくことを目標に据えております。

その一端として、各学科独自のカリキュラムに加えて、九州大学の海外拠点の協力の下で工学部学生を対象とした学生派遣・研修プログラム（コロナ禍の令和2年度はオンライン海外研修プログラムに変更）などを独自に実施しています。また、学士課程国際コースには、世界各国からの

優秀な高校生が受験・入学しており、学部生の時から彼らと英語で共学できる環境の中で他国の異なる文化を体感できます。これから大学で学ぶ予定の高校生の皆さん、意欲次第で自らの無限の可能性を引き出せる環境が揃っている九州大学工学部に飛び込んでみませんか。

九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長

園田 佳巨



▲1914年(大正3年)
九州帝国大学工科大学正面



▲箱崎キャンパス:旧工学部本館



「九州帝国大学工学部銘板」

1919年(大正8年)前身である工科大学が工学部と改称された際に製作されたと考えられる銘板。戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。

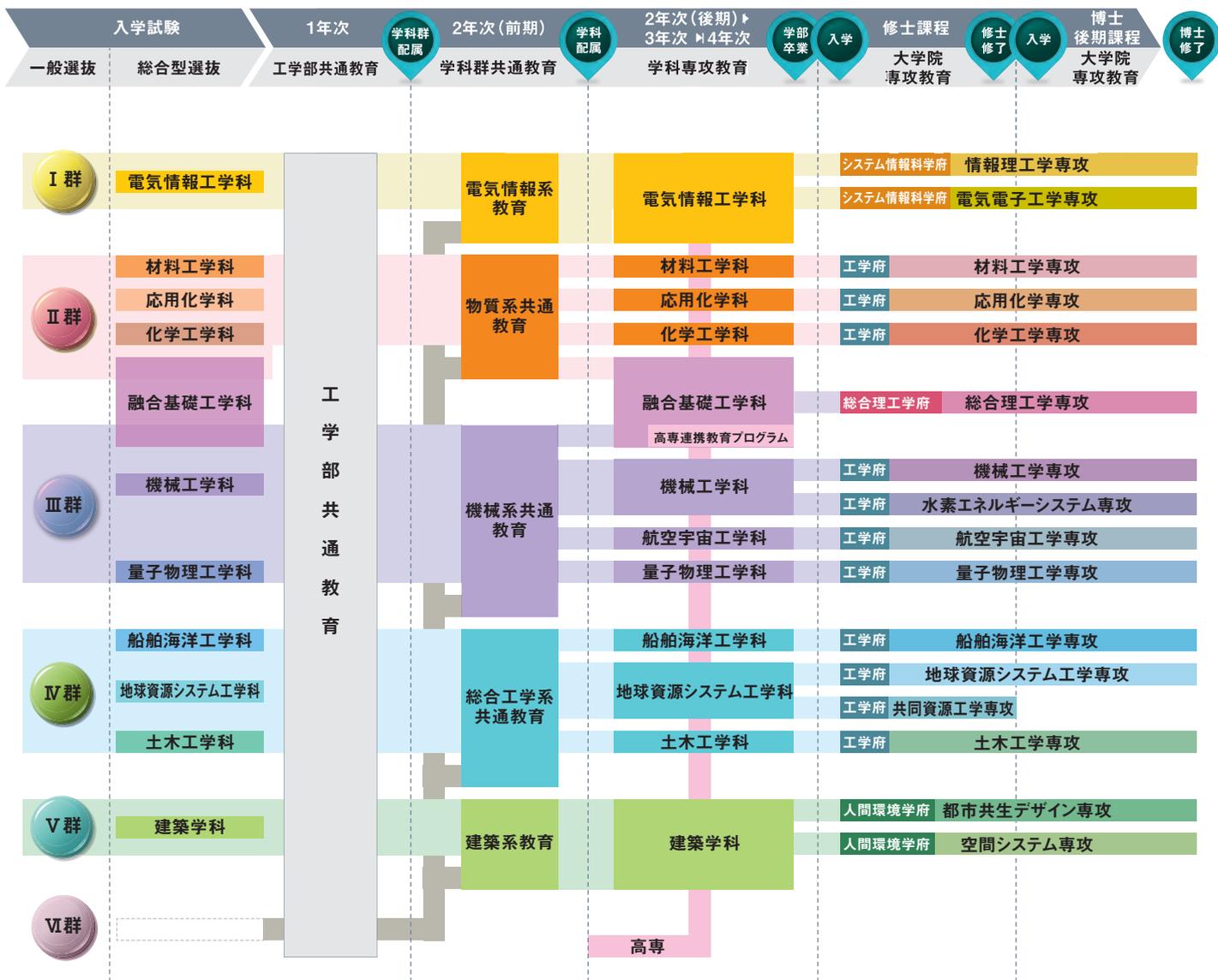
2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント(記念碑)を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。

学科一覧・定員

群	学科	掲載ページ	一般選抜		総合型選抜	定員合計	教育内容
			前期日程	後期日程			
I	電気情報工学科 Department of Electrical Engineering and Computer Science	P11	98	17	8	123	電気情報工学を専門として新しい技術開発を行い、それを通して安全・安心、持続可能で豊かな社会に貢献する人材を、計算機工学コース、電子通信工学コース、電気電子工学コースの3つのコースを設けて育成します。
II	材料工学科 Department of Materials	P12	123	21	3	43	材料工学を専門とし、物質を構成する原子や電子の微視的な振る舞いを理解して、材料の特性が発現する原理と概念に基づいた新材料の開発により持続可能な社会の発展に寄与する人材を育成します。
	応用化学科 Department of Applied Chemistry	P13			4	58	化学を専門とし、物質の構造・性質・反応を原子・分子レベルで理解したうえで、原子・分子を設計・操作して新物質の合成や物質の変換およびプロセスの開発などを行って持続可能な社会に貢献できる人材を育成します。
	化学工学科 Department of Chemical Engineering	P14			2	31	化学工学を専門とし、環境・エネルギー、新規機能性材料、バイオテクノロジー・高度先進医療、生産プロセスなどの分野において、地球環境との調和と人類の福祉に貢献できる人材を育成します。
	融合基礎工学科 Department of Interdisciplinary Engineering	P15			2	46	物質科学と材料工学を融合した物質・材料工学分野、または機械工学と電気電子工学を融合した機械・電気電子工学分野を主たる専門とし、情報科学を副専門としながら問題解決型学習に重きを置いた教育により、環境・エネルギー問題に代表される多様な複雑な課題に対応し、解決することができる工学系 π 型人材を育成します。
	機械工学科 Department of Mechanical Engineering	P16			2		機械工学を専門とし、主として物理法則の基礎理論を理解して、社会のニーズに応えるため、制約条件の下で環境への影響を考慮しながら機器やシステムを設計製作し、あらゆるモノづくりを支える人材を育成します。
III	航空宇宙工学科 Department of Aeronautics and Astronautics	P17	146	25	7	108	航空宇宙工学を専門とし、力学を基礎とした工学理論や、航空宇宙機開発特有のシステム工学に関連する基礎知識を有し、新しい航空宇宙機の開発や運用環境拡大によって生ずる課題を発見・解決できる人材を育成します。
	量子物理工学科 Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering	P18			0	21	応用物理、量子科学、原子核工学を専門とし、新しい量子現象の観察やその応用、量子ビームの開発と医療・生命分野などへの応用、新規材料開発、エネルギー開発、環境保全等へ貢献できる人材を育成します。
IV	船舶海洋工学科 Department of Naval Architecture and Ocean Engineering	P19	92	16	2	29	船舶工学、海洋工学を専門とし、グローバルな価値観に基づいて海洋と人類の共生への貢献を目的として、造船技術の継承・発展ならびに持続的な海洋開発を担う総合工学的な広い視野を持った人材を育成します。
	地球資源システム工学科 Department of Earth Resources Engineering	P20			2	28	資源工学を専門とし、国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する様々な技術の開発などを担う人材を育成します。
	土木工学科 Department of Civil Engineering	P21			4	62	土木工学、環境工学を専門とし、構造物の設計・施工から、環境の保全、災害の防止に関する様々な知識を有して、自然や文化に配慮しながら安全・安心な国土を整備するとともに、国土の諸問題を解決できる人材を育成します。
V	建築学科 Department of Architecture	P22	46	0	6	52	建築学を専門とし、自身の知識と思考力で課題の本質を読み解き、変化する社会情勢に応じた環境のデザイン力と理論に裏打ちされた技術・技能により都市・建築に関わる課題の解決策を導き出せる人材を育成します。
VI	—		124	23	—	147	

※上記のほか、融合基礎工学科では定員を20名とする編入学試験を新たに実施します。(令和5年4月編入学者から実施予定です。)

入学から卒業・修了までの流れ



2022年度の選抜方法

総合型選抜：書類審査、大学入学共通テストと面接（実技）等

志望の動機や高校時代の活動および基礎学力を総合的に評価して選抜します。
この選抜のみ、学科群ではなく学科ごとに選抜します。

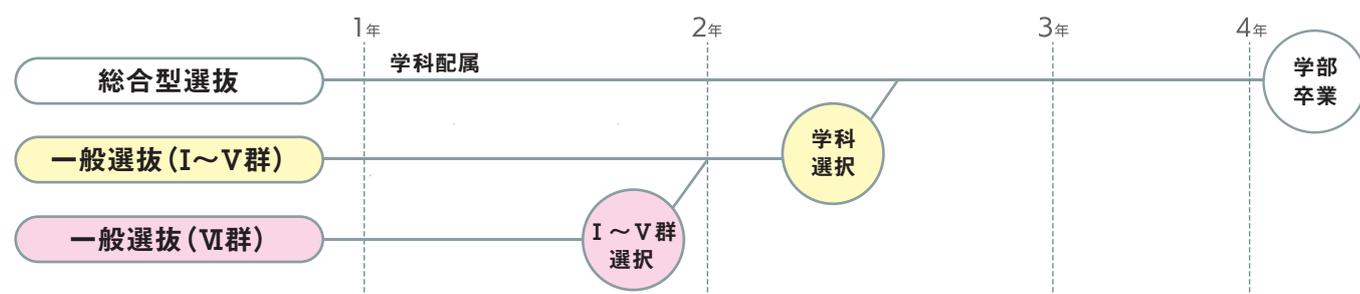
一般選抜（前期・後期）：大学入学共通テストと個別学力検査

学科群（I～V群）ごとの選抜

I～V群：専門教育で必要とされる基礎科目が共通の学科群ごとに募集・選抜します。
群を構成する学科への配属は、2年前期終了時に行います。

VI群：入学時には学科群が未定の学部一括として募集・選抜します。
1年終了時に学科群（I～V群）に配属し、2年前期終了時に学科を決定します。

入学後の学科決定の流れ



※ 学科群や学科の選択は、「志望」や「大学での授業の成績」等に基づいて行われます。

VI群とは

- ▶ 学科群（大括りの学問分野）を入学1年後に選択できる入試選抜の括りです。
- ▶ より多くの正確な情報に基づいて学科群を選択することができます。
- ▶ 1年次はすべての学科群で「工学部共通教育科目」を履修するため、I～V群入学の学生に比べて学習に後れを取ることは全くありません。

VI群受験を勧めたい生徒

物理系にも電気系にも
興味がある！
どちらに進もうかな…

複数の学科に
関心がある人



計算科学をやってみたいし、
物質のミクロな世界も
学びたい！
講義を受けてみてから
学科を選びたいな

将来はエネルギーの研究開発に
携わりたい！そのためには、
どのような分野に進んで行けば
いいのかな～？

目標に向かうための
進路が不明な人



理系科目が好きなので工学部で
いろいろ学びたいけど、
どの分野でどのようなことを
学べるの？

学科や専門分野の
イメージが湧かない人



工学部は分野が広くて、
高校でも十分な情報を得るのが
少し難しいから、まだよく
分かっていないんだよね。

自慢の設備

宮崎 裕明さん
エネルギー科学科 4年



国内トップクラスの
電子顕微鏡

伊都キャンパスの超顕微解析センターにある超高压電子顕微鏡は、日本の各大学が所有する顕微鏡の中でもトップクラスの性能を誇ります。初めて見た時はその大きさに圧倒されました。

サークル活動

和知 隼人さん
機械航空工学科 4年



授業で得た知識を
サークル活動に活かす

学生フォーミュラというサークル活動をしています。授業で学んだことを活かして、自分たちで小型レーシングカーを設計、製作して実際に走らせるのは貴重な経験ですし、達成感も大きいです。

研究室

中西 賢斗さん
物質科学工学科 4年



研究室の先輩は
頼もしい存在

4年生になると研究室に配属されますが、工学部は大学院進学率が高いのでたくさんの先輩ができます。先輩方は研究について聞ける頼もしい存在です。研究以外のことも気軽に話せます。

国際交流

山田 果歩さん
応用化学専攻 修士1年



サークルや研究室での
国際交流機会

ESS(英語でディベートを行う部活)に参加していましたが、国際交流のサークルや英語を用いる部活では留学生と友達になる機会も多く、研究室でもさまざまな留学生と学び合う機会があります。

伊都キャンパス

島内 崇太郎さん
物質科学工学科 4年



世界的な最新技術と
自然の共存が魅力

最新技術と自然の共存が伊都キャンパスの最大の魅力です。キャンパス内には多くの世界的レベルの研究設備が整うとともに、周りは山と海に囲まれていて大自然を楽しむこともできます。

先生

大田 有夏さん
地球環境工学科 4年



先生方に感じる
研究にかける熱量

九大工学部の先生方に共通しているのは経験と知識の豊富さ、研究にける熱量です。学生に対して真摯に向き合ってください先生が多く、常に寄り添ってくださっているという印象を受けます。

筑紫キャンパス

若杉 拓也さん
総合理工学専攻 修士1年



研究に集中できる
環境が魅力

筑紫キャンパスは、西鉄やJRの駅から近く、緑も多く落ち着いて研究に集中できる環境です。九州大学の4つの附置研究所のうち2つの研究所があり、最先端の研究拠点という雰囲気です。

学内飲食施設

鶴岡 寿樹さん
地球環境工学科 4年



「ビッグどら」なら
自分で量を調整可能

「ビッグどら」の地下食堂には、いつも多くの種類のおかずが用意されていて、自分でメニュー・量を調整することができます。従業員の方々もいつも笑顔で多くの学生の対応をされています。

九州大学工学系の学部・専攻で学ぶ先輩たちが、
キャンパスライフの魅力についてメッセージ。

Welcome message

【先輩からのメッセージ】



サークル活動

藤本 美咲さん
電気情報工学科 4年



ポケモンを通して
広がる交流

九大ポケモン研究会に所属していますが、学園祭での来訪した方々との対戦の他、他大学や社会人の方との交流も多くあり、オンラインでもイベント等の活動を行いやすい点も魅力的です。

図書館

岩附 陽太さん
機械航空工学科 4年



さまざまな活動に
対応可能な図書館

理系図書館を利用する人が多いですが、私は中央図書館の4階をよく利用しています。九州大学の図書館は広いので、さまざまな活動に対応可能な施設が整っていることが大きなメリットです。

学内飲食施設

後藤 真緒さん
地球環境工学科 4年



「E-Café」は
工学女子の御用達

「E-Café」はパスタが食べられるので気に入っています。今はコロナ禍で利用時間制限がありますが、普段は夜に開いている理系地区唯一のカフェなので、よくご飯を食べたりお菓子を買ったたりしています。

自慢の設備

塘口 慧さん
建築学科 3年



九州から都市・建築の
在り方を考える

建築学科には「BeCAT」が今年4月に新設されました。これは環境をテーマにして九州から都市・建築の在り方を考えていくためのものです。プログラムが充実していて、先生方が豪華です。



情報知能工学専攻
博士後期課程1年
ジ ショウトンさん



材料工学専攻
博士後期課程1年
河原 康仁さん



物質創造工学専攻
修士課程2年
安部 彩乃さん



化学工学専攻
博士後期課程3年
本田 竜太郎さん



機械工学専攻
博士後期課程2年
藤木 拓人さん



九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長
園田 佳巨



航空宇宙工学専攻
博士後期課程2年
龍園 一樹さん



量子物理学専攻
博士後期課程1年
足立 恭介さん



船舶海洋工学専攻
博士後期課程3年
上村 崇杜さん



建設システム工学専攻
博士後期課程2年
辻 勲平さん



空間システム専攻
博士後期課程3年
西山 雄大さん

Special Talk

特集【座談会】

工学研究院長と 博士課程生が学びを語る

博士課程に進んで研究を続ける先輩たちが、 本音で語る九州大学工学部の魅力

私たちが九州大学工学部を選んだ理由

園田: 私は昨年1年間、積極的にいろいろな高校を回って九州大学工学部の魅力をアピールしてきました。そこでも感じたことですが「自分は医者になる」という明確な目標がある医学部は別として、工学部は理系の中の選択肢の1つでしかないという感じで、強い目的意識を持って入ってくる学生さんはあまり多くありません。そこで、まずはみなさんが九州大学工学部を選んだ理由を教えてください。

龍園: 九州大学を選んだのは、親が鹿児島にいたので何かあってもすぐに帰れるように、という理由です。もともと勉強が好きだったので、工学部なら就職しやすいのかなというくらいの考えでした。

藤木: 私は中学卒業時から機械系の仕事に就くと決めていて、中学校の卒業文集の将来の夢にも「機械系の仕事に就く」と書いていたくらいです。地元が福岡ということもあって九州大学の機械工学専攻を選びました。

本田: 私は高校時代から勉強は苦手だったのですが、化学だけは面白くて、将来は化学を中心に何かやっていけたらと思っていました。化学を学ぶにも理学部と工学部の2つの学部がありますが、いろいろな先生に相談すると「工学部の方が社会に近いし、自分が作ったものを売ることができる」と言われて工学部を選びました。九州大学にしたのは近かったからです。

河原: 自分も就職のしやすさを考えて工学部を選びました。兄からも「理学部の友人は就職に困っているけど、工学部は困らな

い」と聞いていたのもあります。

辻: 僕はみなさんとちょっと経歴が違うのですが、高専に通ってから九州大学に来ました。高専に進んだのは、普通の高校より誰よりも早く専門が学べると思ったからです。高専時代に研究の面白さも知りましたし「もっと人脈を広げないと将来活躍できない」と思って、レベルの高い九州大学を目指してきました。

足立: 僕も高専出身です。高専に行ったのは中学時代の友人に誘われたからですが、そこで工学の分野も面白いなと思えるようになりました。高専では電気情報よりの内容を学び、電力会社への就職も考えたのですが、中学時代に起こった東日本大震災における原子力発電所の事故を見て、原子力を学びたいと思いました。九州大学を選んだのは、原子力系の分野を学べるからです。

上村: 日本は海洋国家でもあるので海洋関連の仕事に就ける大学を探しました。自分の出身が三重県なので大阪大学が一番近かったのですが、九州大学のオープンキャンパスに来た時にまだ新しかった伊都キャンパスに最新の設備があって、研究をするならここだと思いました。

園田: 資源とか海洋といった分野は、旧帝大ですでになくなったところも少なくないので、その点は九州大学工学部の強みとも言えるのでしょうか。

安部: 私はもともと理学部にするか工学部にするかを高校3年生まで悩んでいました。学科を調べていく段階で、最終的に自分がやった仕事が社会に還元できる方が魅力的だと思って工学部を志望しました。高校時代から化学に興味があったので工学部で化学を専攻できる物質化学工学科を選びました。

園田: ここまでのお話で理学部と工学部の

違いが出てきましたが、理学部は純粋な学問ですよ。工学部は最終的に社会に還元できるところまでいかないといけないので、そういう点に魅力を感じてもらったのはうれしいですね。

九州大学工学部に来て良かったと思えることは

園田: では、次の質問です。みなさんは九州大学工学部に来て良かったと思えるのはどのような点ですか。

龍園: 入ってみるとやりたいことを明確に持っている友人が多かったです。そのような友人を「かっこいいな」と思うと同時に、自分も航空の分野で学問を究めたいと思うようになりました。いろんなものに挑戦しようとして『PLANET-Q』というロケットのサークルに入ったのですが、創造工房という形で大学に支援していただいているのも工学部の良いところだと思います。

園田: 確かに同級生の存在は大きいと思います。刺激しあうことが大事ですよ。

安部: 入ってみると選択肢がたくさんあって、自分の興味があるものをちょっとずつ研ぎ澄ませていくことができていると思います。先生方もたくさんいらっしゃるので、その分選択肢が豊富という点が工学部の魅力だと思います。あと、工学部が支援している短期留学プログラムELEPに参加したのですが、海外にあまり興味がなかった私でも気軽に参加できたのは良かったですね。

園田: 九州大学には本当にたくさんの選択肢があると思います。例えば、学部の数と比較すると日本の国立大学で12学部あるのは北海道大学、広島大学、九州大学の3校だけで、東京大学でさえ11学部です。



ジ ショウトンさん



河原 康仁さん



安部 彩乃さん



本田 竜太郎さん



藤木 拓人さん



龍菌 一樹さん



足立 恭介さん



上村 崇杜さん



辻 勲平さん



西山 雄大さん

ジ:私は人工知能の研究をしています、中国では人工知能を学んでいるのは女性が多いので、日本に来て工学部に女子学生が少ないことに本当にびっくりしました。中国では先生が厳しかったのですが、日本の先生はいろいろと指導していただき、ダメなところも「そういうのはダメだよ」と優しく言ってくださるので、勉強がとても楽しいと思えるようになりました。

園田:工学部に女子学生が少ないことは私たちも悩んでいます。実はこの10年、九州大学工学部の女子学生の割合は常に10%程度で変わりません。その理由としては、日本の学生さんは、高校生になった時点で既に固定観念に縛られていることなどが挙げられます。高校で、理系・文系に分けられる際に数学に少しでも苦手意識があると「理系は無理」とされているところがあるんでしょね。この固定観念を変えていかないと、これからも変わらないでしょう。中学生の時から、工学にはこういう分野があり、こういう魅力があると具体的に伝えていくことが大事だと思います。高校によっては3年生になってから理系、文系を分けるところもありますが、殆どの高校は入学して半年程度過ぎた時点でコース分けするところが多いので、その時点で理

系コースに女の子が少ないという現状があるようです。現実には、工学部で学んでいる女子学生を見てみると、几帳面に勉強されるので教室内での成績は優秀な子が多いですよ。

西山:建築は工学部の中でも定員が少ないので、それが丁度いいサイズだと思っています。同級生がどういうことに興味があって何をしているのかも、全体像としてほしい把握できます。刺激にもなるし、仲もいいです。

現在所属する研究室を選んだ理由

園田:続いては、みなさんが現在所属している研究室を選んだ理由について聞かせてください。

藤木:僕は指導教員の先生が厳しいところを選ぼうと思っていました。今やっているのがロボットの研究で、もともと興味があった分野の研究がやれているので満足しています。

ジ:私は中国からネットで探しました。他の大学のホームページも見たのですが、今の研究室のホームページが一番かっこよかったので選びました(笑)。高校生にもわかる

ようなホームページを作ることも大事だと思います。

辻:僕の研究室ではスーパーコンピュータなどの大型計算機を使うのですが、単にそれがかっこいいなと思ったからです。

河原:僕は先生で選びました。いろいろな先生の授業を受けて、必死に勉強してテストでいい点を取ろうと頑張ってきましたが、どの先生の授業で学ぶことが多かったかなと考えて今の研究室を選びました。

足立:先生の集中講義は内容がすごく面白くて。もともと原子力の中でも僕が一番やりたかったのが核廃棄物の処理だったので、通常とは別の処理方法を研究されている点が自分の中でマッチしたというのが理由ですね。いずれ社会で使われるようになればいいなと思っています。

どうして博士課程まで進もうと思ったのか

園田:みなさんがこうして博士課程まで進まれていること自体が、それぞれの研究室に満足されている証拠だと思います。ところで、どうして博士課程まで進もうと思ったのでしょうか。ご家族からすれば、就職面や経済面も含めて心配されたと思いますが、みなさ

んの意識をお聞かせください。

上村: 博士課程の3年間は、いい意味で考えれば充実した研究ができる期間だと思います。就職して社会人博士課程として取ることもできますが、私が見るところでは、みなさん本来の会社の業務がお忙しいので、研究は学生にお任せという方が多いように思います。修士を終えて博士課程に進むことで時間的なしなごみもなく、企業との共同研究でも(学生として)アカデミックな立場で質問ができることも強みだと思います。

龍箇: 博士課程に進んだ一番の理由は研究が面白かったからです。自分が知らなかったことを知る学問の面白さを学部4年で感じました。特に卒業論文の序論を書いている時に、今までの先行研究からの流れがあって、それが今の研究に繋がっているということを知ることができて面白さが増しました。それが博士課程に進んだきっかけです。博士課程に進むにあたって一番の不安は金銭面でした。実家がそれほど裕福ではないので、経済的には完全に独立すると親に約束して進学したのですが、指導教員の方にもサポートしていただけて現在に至っています。

本田: 私の進学理由の一番は自分が成長できると考えたからです。学部、修士での研究はどちらかといえば受動的な研究でしたが、博士課程では企画から自分でやってプレゼン力とか文章作成力が求められることもあって、その点で成長できるなと思いました。同期の9割は修士で卒業しましたが、将来的に少しでも上の位置にいたいというよこしまな気持ちも少しあります(笑)。

藤木: 博士課程への進学を決めたのは、修士1年次から2年次が変わる時でした。それまでは修士を終えて就職する気持ちが強かったのですが、博士課程に進めば僕が就職しようと思っていた企業さんと共同研究ができるぞと指導教員の方に言われました。就職してよくわからない上司からその道のことだけを学ぶより、大学に残って行きたい企業の情報を知りつつ、僕のことをよく

理解してくれている指導教員の方からより深い知識を得た方がいいと考えたのが理由です。親が博士課程に対する理解があったことも大きかったです。

辻: 僕も研究が好きだったことが一番です。同期が就職して取り残された不安はありますが、博士課程の3年間を頑張れば周りよりもちょっと前に出ることができるかな、と思っています。僕は教員になりたいという思いがあります。研究をしながら研究室を持って教育もしてとなると、やはり博士課程を卒業しておかないと無理だろうと考えています。

園田: 日本国内で就職しようとする博士課程は不利だと言われていて、ところが海外ではドクター(博士課程卒)を持っていないとダメだということが多いのです。それを若い人たちが意外と知らないんですよ。

河原: 研究室の先生に相談したのがきっかけで(博士課程)進学を決めました。博士課程を経て就職して年収が上がったり、良いポストに就けることはないかもしれないけど、自分が好きな研究ができる人生で最初で最後の3年間だと言われて決意しました。

ジ: 中国では「ドクターが欲しい」という企業がほとんどです。私の両親はどちらもドクターを持っていて大学の先生をやっているの、小さい頃から(博士課程に)行きたかったら行けるという環境にありました。海外の人から見るとドクターは賢くてカッコいい存在だと思います。

西山: 私は修士を終えて設計事務所に4年間勤めてから大学に戻ってきました。設計をするにしても論文を書くにしても過去の参考事例を当たるわけですが、過去の研究を読むことでそこからオリジナルの発想ができ、設計よりも研究の方が自分には向いているのかなと思って戻ってきました。

足立: 私は現在の研究室の研究内容に興味があったからですね。最初は修士で終えて就職しようかなと考えましたが、修士の2年間では中途半端なところで終わるだろうなと思ってもう少しやろうと思いました。学生なのでやりたいことを自由にやれるということもあって、そういう時間を大切にしたいと考えています。

安部: 私はこの3月まで就職活動を行ってました。3月に第一志望の企業から内定をいただいたのですが、修士になって始めた研究テーマがあと1年で終わらないなと思って。与えられたものではなく自分の希望も入って始めた研究テーマなので、愛着もあって何とか形にしてから卒業したいと考えて博士課程に進むことにしました。研究室の先生方のサポートもあり、また親も「どうせ65歳まで働くのなら(博士課程の)3年間なんて誤差の範囲」と言ってくれました。

園田: 今日は貴重なご意見をたくさんいただくことができました。みなさんが強い意志を持って、博士学生としての研究活動に動んでいることを知り、大変嬉しく思います。

これからも研究にしっかり励んでください。ありがとうございました。



この座談会は、工学部ホームページにも掲載しています。

学生が紹介する動画サイトもあるよ!

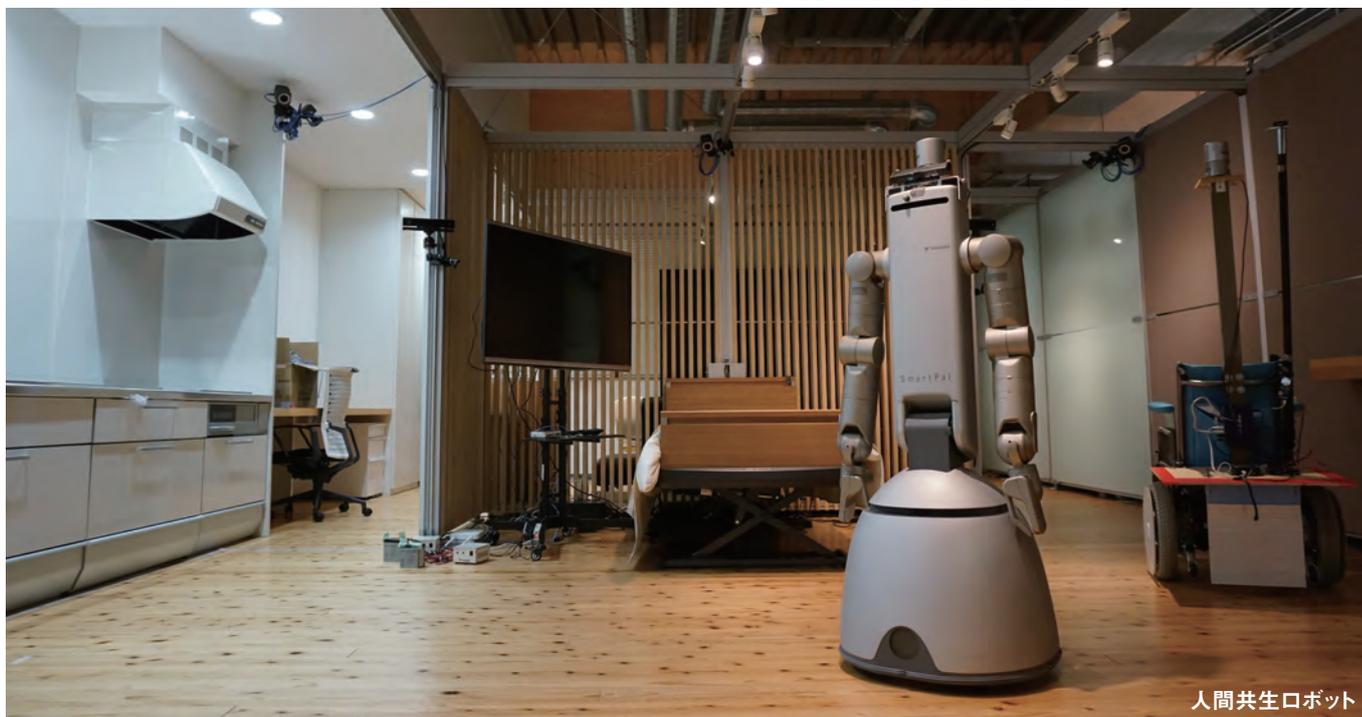
YouTube

Instagram





論理と物理を基に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心を創る技術者と研究者の入口



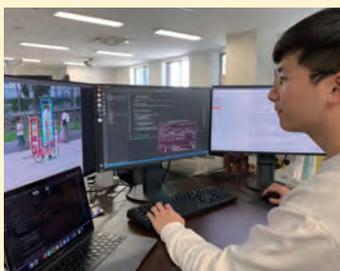
人間共生ロボット

スマートフォンで美しい写真を撮ることができます。これは、画像データを処理するソフトウェアと、レンズで捉えた光をデータに変換するハードウェアとの連携で実現しています。このように電気情報工学分野はソフトウェア・論理とハードウェア・物理が密接に連携して常に発展を続けています。

Cyber Physical Systemは、現実であるフィジカルシステムからデータを取得し、コンピュータ上のサイバースystemで処理・解析・判断を行い、その結果を現実世界に戻すことにより、私たちの生活や社会活動をより効果的で効率がよいものにし、新しい価値を創り出します。ここで必要となる、測りたい量をデータに変換する

センサ、データを伝送する通信、大量のデータを解析するデータサイエンス、解析結果に基づいて判断を下す意思決定、決定を現実化する制御、これらの装置類へのエネルギー供給はすべて電気情報工学分野に含まれます。電気情報工学は、私たちの生活や社会活動に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心をもたらすことに大いに貢献しています。

電気情報工学科では、数学、プログラミング、人工知能、論理回路、電気回路、電磁気学などの基礎を出発点として、計算機工学、電子通信工学、電気電子工学の3コースそれぞれに合った比重で、電気情報工学分野の論理と物理の両方を学びます。

機械学習による
動画像中の物体追跡クリーンルームで安全安心の
光技術を研究Problem Based Learning
によるロボット開発演習超伝導と自動制御で
実現する未来の飛行体



物質を理解して原料を精製・加工し、性質を解明するとともに 機能を引き出した無機材料を作り出す技術者と研究者の入り口



チヨクラスキー法による新規熱電材料の単結晶作製

これまでの文明の発展は材料の進化に支えられてきました。例えば、自動車社会は鉄鋼材料の大量生産に、航空機による高速輸送はジュラルミンの発明に、情報化社会は半導体の発明に、といった具合です。周期表には118個の元素しか掲載されていないにもかかわらず、これらの元素の無限とも言える組み合わせから、様々な性質をもった材料が創り出されています。単に混ぜ合わせるだけでは無く、加熱、冷却、加工など様々な工程で新たな機能を附加しています。材料工学は、このように身の回りにあるあらゆる「モノ」のもととなる材料や素材を創り出すための基盤となる学問です。

材料工学科では、素材を原子のレベルでデザインして原料から

材料にするためのプロセス工学、デザインした材料をさらに熱処理や機械加工することによって材料の強さや形を変えるための加工工学、そして材料の機能を高めるための機能工学などの知識を学修します。また、実習や実験を数多く行うことで、自ら手を動かして知識を自分のものにすることができます。さらには、材料解析や材料計算などの未知の新材料を創り出すといった、従来の枠を越えた分野も学ぶことができます。これから変わりゆく時代に柔軟に対応しながらモノ（材料）づくりを通して社会に貢献できるエンジニアや研究者の基礎を築くことができるのが、大きな魅力です。



自ら創り出した燃料電池材料の評価



1600℃の高温酸化物および金属融体の物理化学的性質の評価装置群



金属3Dプリンタにおける凝固組織形成機構および欠陥形成メカニズムの解明とそれによる高機能部材の実現



化学で人々の暮らしを豊かにし、 持続可能な社会の構築に資する学問を追究します



研究室での実験の様子

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。多様な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、実践力、表現力や提案力を磨く充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素材、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。学士課程では

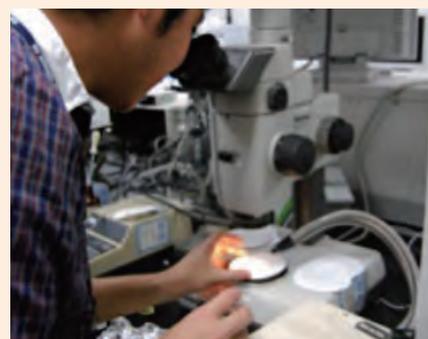
両コース共通の科目を多く設けているのに対し、修士課程ではそれぞれの専門に応じてより最先端の科目を自らが決めて履修する目的指向型のカリキュラムとなっています。さらに、デジタルトランスフォーメーション(DX)と化学技術の融合や、産官学の機能的融合によるオープンサイエンスプラットフォーム「マテリアルヘルステクノロジー」など、次世代先端科学技術の開拓にも取り組んでいます。本学科では、様々な分野を幅広く俯瞰する基礎力を備えていながら、細分化された専門的な領域にも対応できる人材の育成を目指しています。卒業生は、化学分野をはじめ、バイオ・医薬、電子・情報、機械・自動車、環境・エネルギーなどの幅広い分野における専門家として活躍しています。



共焦点顕微鏡での画像解析



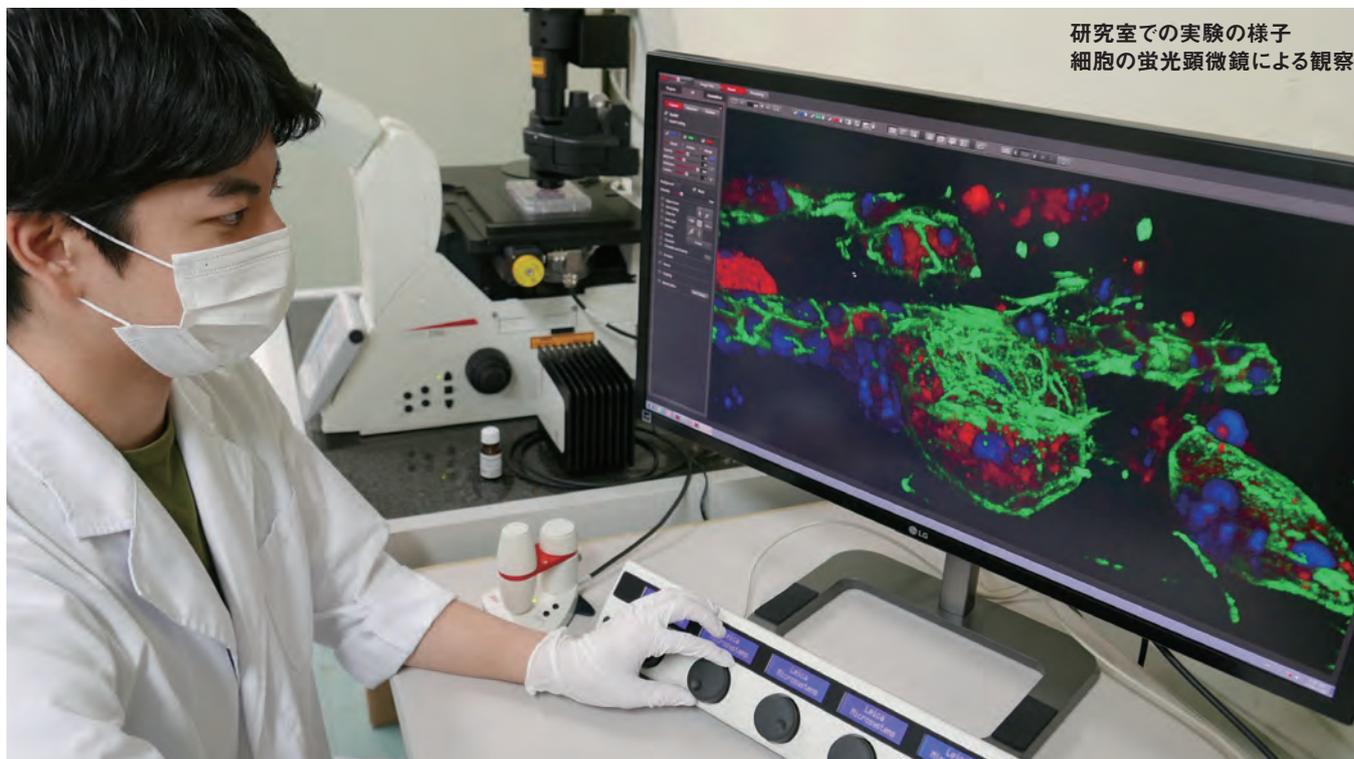
研究室でのセミナーの様子



光学顕微鏡による資料観察



新材料 新現象を社会で実現化する力



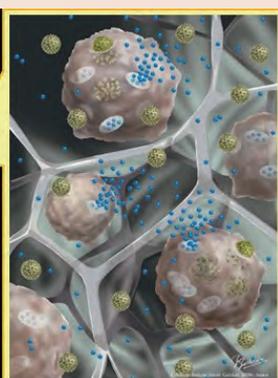
研究室での実験の様子
細胞の蛍光顕微鏡による観察

化学工学は、物質科学の中で最も新しい学問です。材料の性質に焦点を当てた他の物質科学と異なり、ものづくりをプロセスやシステムとして考える視点が特徴です。化学プロセスを単位操作という独自の観点で捉え、様々な科学技術を統合します。化学工学は基礎研究を実社会で実用化するために欠かせない学問です。そして、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、環境、エネルギー、宇宙技術などの幅広い分野の発展に力を発揮しています。本学科では化学工学に関する基礎を講義によってしっかりと学び、最先端の化学工学を卒業研究で実践して身に付けます。

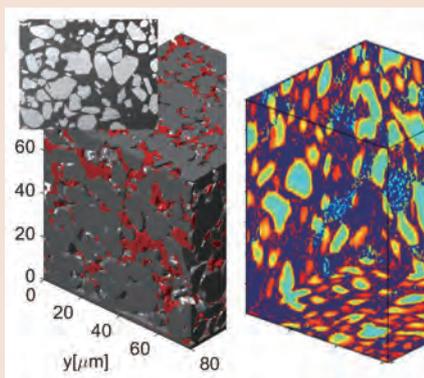
本学科では、幅広いテーマで最先端の研究が行われています。生

命工学分野では、遺伝子工学を活かした医薬品生産や再生医学など、工学的なバイオテクノロジーが展開されています。環境分野では、プラズマを用いた廃棄物処理技術、燃料電池、二酸化炭素分離など、実社会の問題を解決する先端研究が進められています。情報工学を活用し、電池や化学プラントの設計をシミュレーションによって高性能化する研究も行われています。

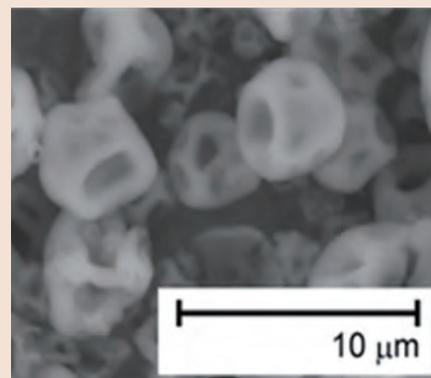
本学科は、分野横断的な人材が益々求められる21世紀において様々な課題へと適用できる化学工学の基礎を学べるのが最大の魅力です。



球状の細胞組織体が充填された人工肝臓システム



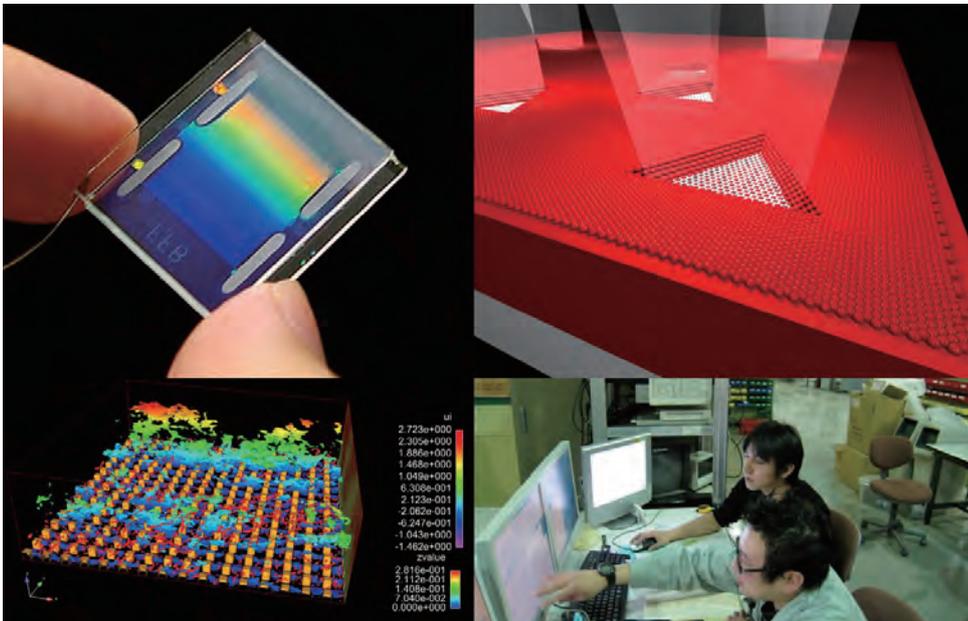
情報工学を活用した電池内シミュレーションの様子



プラズマを利用したナノ材料の創製様子



“工学系分野の融合”×“情報科学”を基軸とし、 広い視野と実践的な行動力をもったAI時代のリーダーを創出



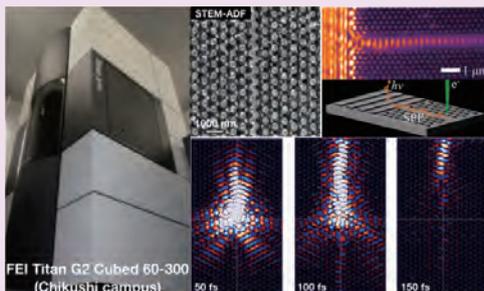
情報科学ベースの環境学、放射光測定、
薄膜デバイス、原子層制御

世界が抱える諸問題の解決には、1つの専門分野だけではなく複数の分野を融合し、さらに情報科学(AIやデータ科学)を駆使することにより、革新的な技術・価値・概念を創出し、イノベーションを実現できるリーダーが求められています。例えば、データ科学を駆使した、従来理論では予測・設計できない革新的な物質・材料の創製、高分解能電子顕微鏡やシンクロtron光などの最先端計測技術と理論計算の融合による超高性能材料・デバイスの創出、EV用インテリジェント蓄電池や宇宙機推進用AI制御イオンエンジンの開発、ビッグデータ解析とマルチスケール計算に基づく複雑な社会・地球環境変化の予測などを主導できる技術者や研究者です。

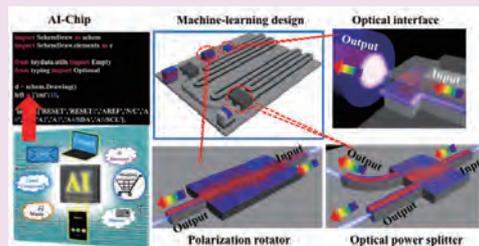
融合基礎工学科で学ぶことができる専門分野は、主要な産業や最先端研究において基礎となる工学分野を横断的に融合させた2つの分野 — 1) 無機・有機材料や半導体デバイスの基礎となる物質科学と、材料のダイナミックな挙動を解析する材料工学を融合した物質・

材料工学分野、2) 熱やエネルギーの流れや物質の移動を解明する機械工学と、電磁気学や電子工学、量子物理学に基づく電気電子工学を融合した機械・電気電子工学分野— です。これらの分野に対応する「物質材料コース」と「機械電気コース」を設置し、各コースの学びを通じて『専門力』(専門知識や技能)を修得します。また、専門分野と情報科学との融合を促すために学科共通の情報系科目を学び、各自の専門分野でAIやデータ科学を活用できる『情報応用力』を修得します。さらに、問題解決型学習に重きを置いた学びにより、物事を広い視野で捉え、課題解決方法を自ら発想し実行できる『俯瞰力』と『実践力』を身に付けます。

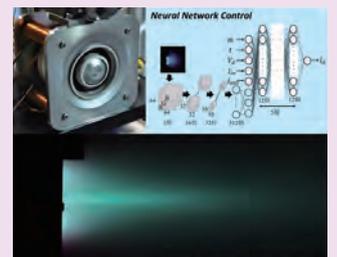
イノベーションの創出に不可欠なこれら4つの力を併せもつ工学系π型人才を育てる本学科の学びを通じて、持続可能な社会の構築に向けた課題に果敢に挑戦する技術者や研究者の基礎を築くことができます。



原子分解能電子顕微鏡の高速画像積算による
高解像観察



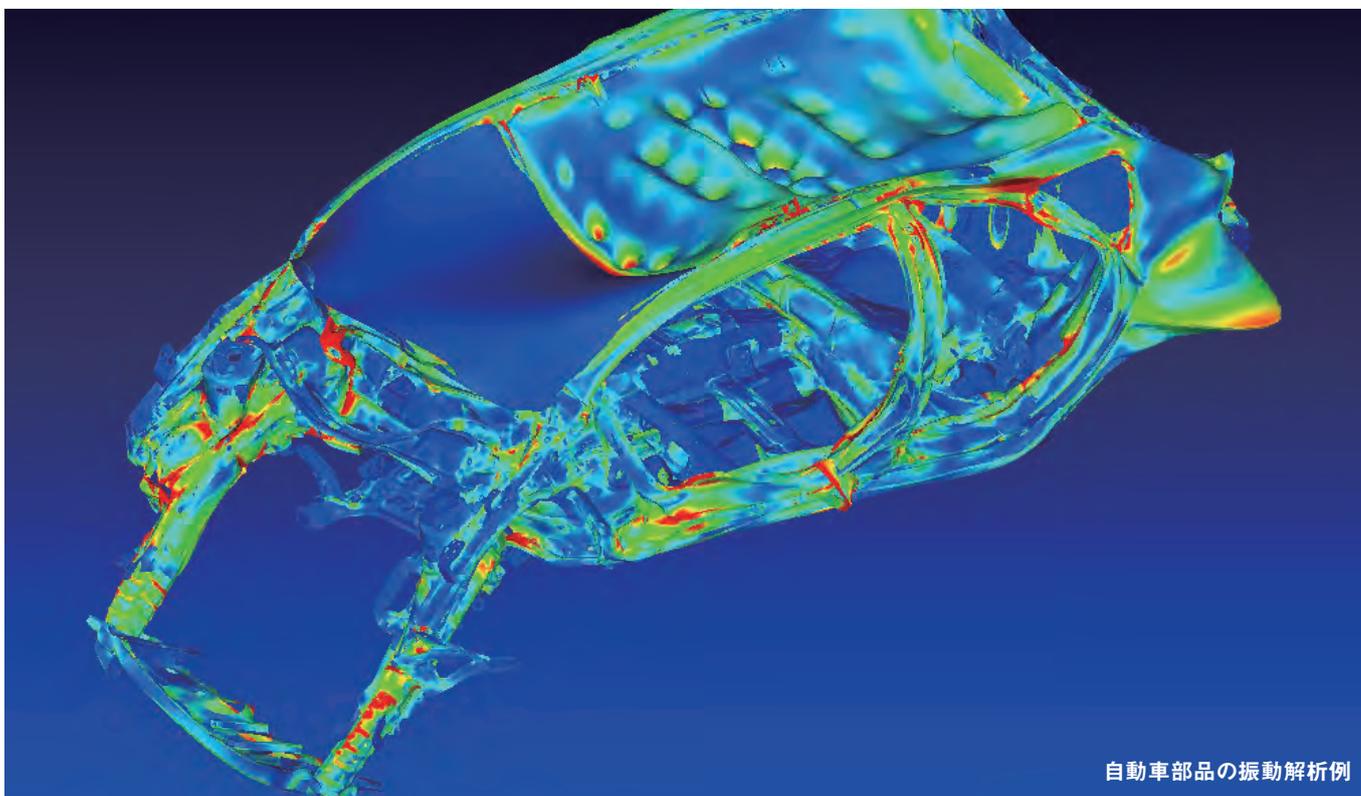
機械学習によるナノピクセル光集積回路



ニューラルネット制御イオンエンジン



あらゆるアイデアや技術を 形あるものにする機械技術者と研究者の入口

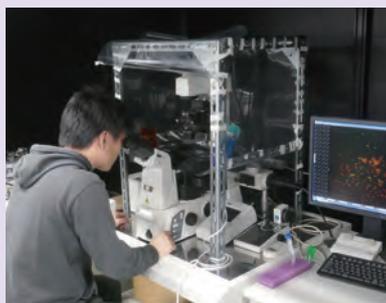


自動車部品の振動解析例

機械工学は、スマートフォン、コンピュータ、家電製品、空調機、自動車、飛行機などの身近なモノ、ロボット、医療器械、建設機械、工作機械、食品機械など専門分野で活躍するモノ、発電所や燃料電池などエネルギーを供給するためのモノやシステム、さらにはそういった「見える」モノに使われている部品や素材など、あらゆるモノを作るための基盤となる学問です。

機械工学科では、安全で安心できるモノを作るために必要となる材料力学、機械力学、流体力学、熱力学・伝熱学、設計法、制御、加工

技術など、あらゆる基礎知識と概念を学修するとともに、実習、実験、製図など自ら手を動かしてそれらの知識を自分のものにするることができます。そして、全体を通して、様々な観点でバランスを考えて判断するものごとの見方を身につけます。さらに、生体工学や水素利用技術など、生物・医療やエネルギー・材料など従来の枠を越えた分野も学ぶことができ、これから変わりゆく時代に柔軟に対応するだけでなく、新しい時代を自ら切り拓くことのできる技術者や研究者の基礎を築くことができます。



共焦点レーザー顕微鏡での観察実験



大型放射光施設SPring-8での
高分解能X線トモグラフィー実験



学生の研究打ち合わせ



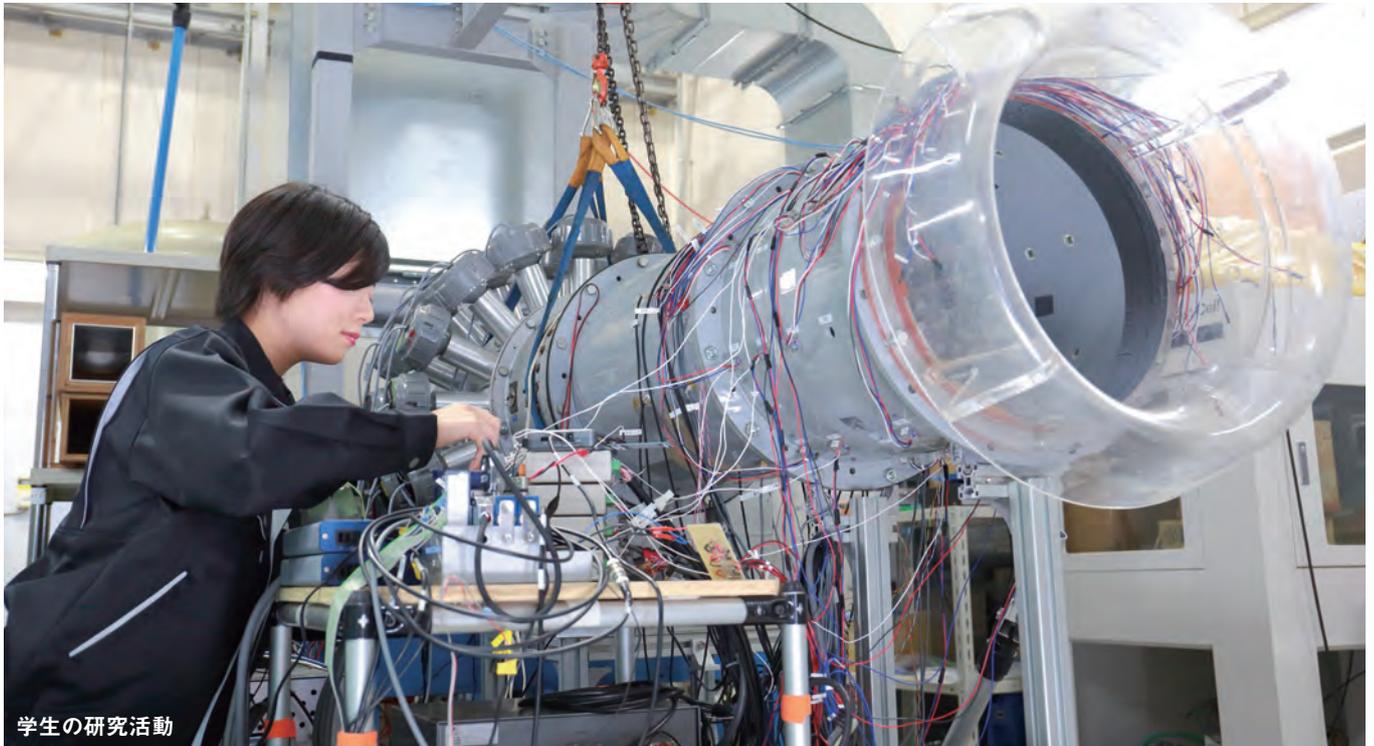
金属材料多結晶組織の
超高分解能3D観察



柔軟なロボット開発による脳卒中患者などの
手指リハビリテーション支援



最先端の知識と技術を結集し、 空と宇宙のフロンティアを切り拓く夢へ踏み出す第一歩



学生の研究活動

日本の航空宇宙開発は近年急速に進展しており、はやぶさ1・2号機による小惑星探査は記憶に新しく、新型国産ジェット旅客機や次期基幹ロケットH3、月や火星を目指す深宇宙ミッションも進行しています。また、超音速旅客機や電動航空機といった次世代モビリティの開発も活発に進められています。

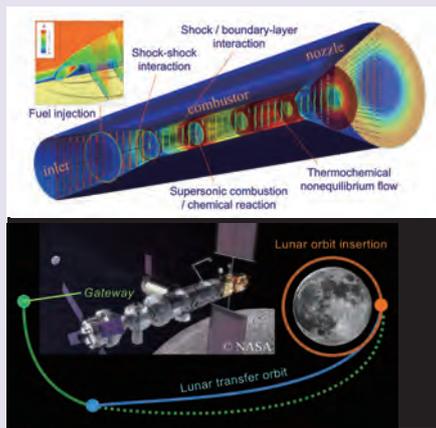
空を飛び宇宙を切り拓くには、正確な法則と現象の理解、先進的な技術に基づく緻密な設計・製造・運用が必要です。航空宇宙工学は、様々な領域の原理を探求し、最先端の技術と英知を結集することにより、空と宇宙をより安全・身近にし、活用・開拓することを目指す

学問分野です。航空宇宙工学科は、航空機や宇宙機の開発に不可欠である、基礎知識と応用的アプローチ、実践的スキルを身につけ、総合的な視点と考え方を育むためのカリキュラムを備えた学科です。

本学科は、日本人初の国際宇宙ステーション船長となった宇宙飛行士の若田光一さんをはじめ、宇宙開発や航空産業の第一線で活躍する人材を数多く輩出しています。また、JAXAや企業、海外との共同研究も盛んに行っており、研究者・技術者としての道を踏み出すには最適の場所です。皆さんも航空宇宙工学科で学び、空や宇宙の夢を追求し、現実に変えてみませんか？



小型無人航空機の実験の様子



超音速燃焼
ラムジェットエンジン

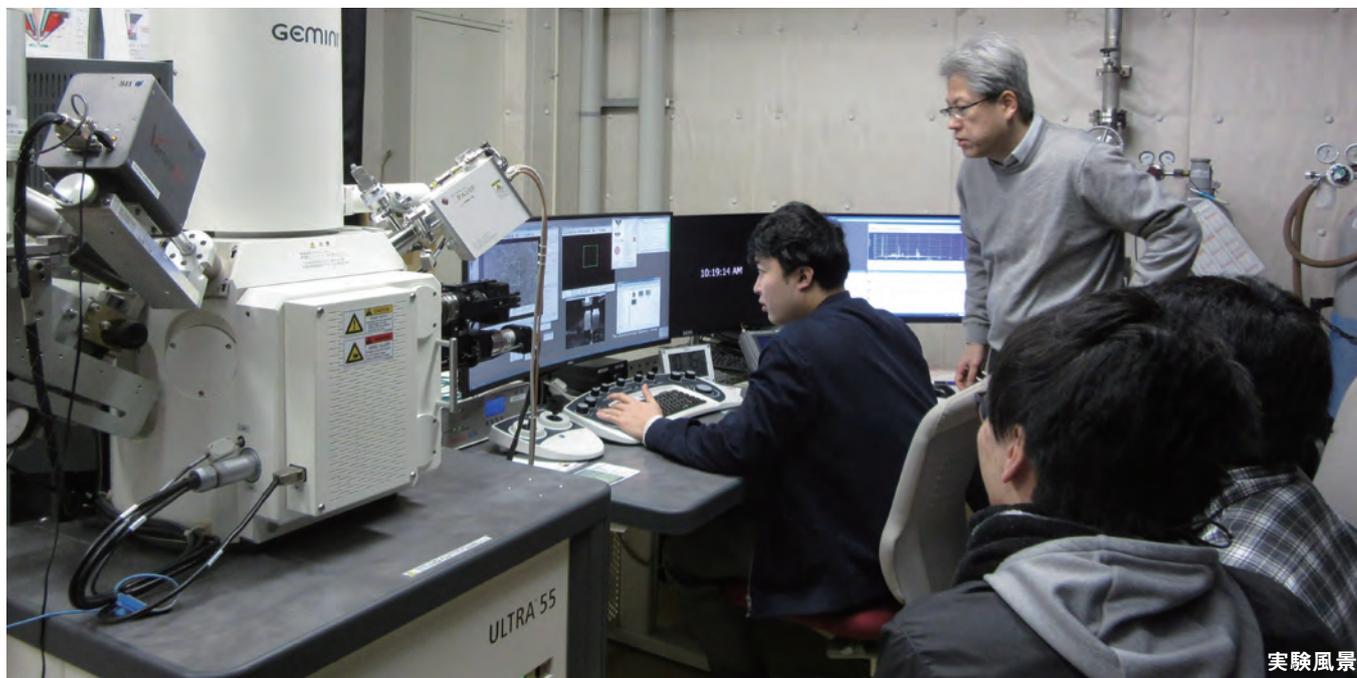
周回プラットフォームからの
遷移軌道



航空機エンジンの騒音制御実験



目に見えないミクロな物理現象の解明と応用で、 人類社会の発展に貢献する技術者と研究者の入口



実験風景

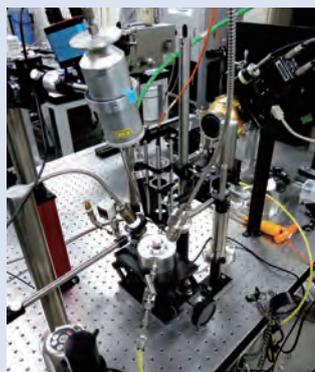
九大工学部に新設された量子物理工学科は、量子が持つ機能を物理学の立場で使いこなし、新しい技術を開拓する挑戦的な人材を育成するために設置された新しい学科です。

近代物理学の新しい学問体系である量子力学と相対性理論の出現はそれまでの物質や時間・空間に対する認識を一新させました。これにより原子核、原子、分子、電子などのミクロな実体から、その集合体である物質、さらには宇宙という巨大な世界までを体系的に理解できるようになりました。

同時に、この学問体系は半導体や超伝導体などの開発、加速器や電子顕微鏡を用いた先端計測、放射線・粒子線を用いた医療応用、原子力や核融合などのエネルギー開発といった様々な技術の基盤と

なり、我々の生活を豊かにしてきました。これからも、スマート社会を支える高度な情報処理技術やデバイス、医療や先端研究で用いる高感度センサー、将来のエネルギー源、環境保全の基盤技術など、量子物理は最先端の技術創成に欠くことができません。

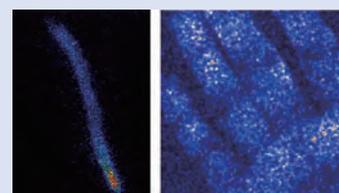
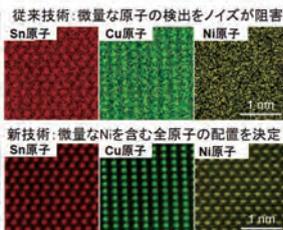
量子物理工学科では量子力学や相対性理論とともに力学、電磁気学、熱力学、統計力学などの現代物理学を構成する基礎的学問を系統的に学習します。その上で応用物理学、量子ビーム、加速器工学、原子核/原子力工学などについても学ぶことで量子物理の基礎と工学応用へのセンスを身につけます。これにより、大きく変わりゆく時代に柔軟に対応し、新しい時代の科学と工学を自ら切り拓いていく力強い技術者や研究者を育成します。



レーザーを使った
無容器法高温融点測定装置



超高压電子顕微鏡と世界最高水準の計測感度をもった
分析電子顕微鏡



超々高感度カメラで撮影した
細胞呼吸の副産物として生じた
活性酸素分子から放出された光量子
(植物根と人の掌)



慣性静電閉じ込め
核融合プラズマ



造船技術の発展と持続的な海洋開発を担い、 海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉



高速回流水槽を使った船体抵抗試験

国土を海洋に囲まれた我が国の将来の発展には、社会・生活を支えるエネルギー・資源の調達や生産物の供給のための海上輸送、海洋資源開発、食糧生産等の海洋の有効利用が必要になります。

本学科では海洋の有効利用のための技術修得を目的に、工学基礎である構造、流体、熱、材料、制御などの幅広い技術分野を修学するだけでなく、巨大な船や海洋構造物を実際に設計・建造し統合化してゆくための総合工学を身に付けられるように特色あるカリキュラムを編成しています。

カリキュラムの中には、多面的に実物を見るために、造船工場や製鉄所見学、3年次の工場実習を用意しています。また、自ら大型船を

設計し、その図面を一通り描き上げる設計演習も組み入れています。一方、船や海洋構造物の計画・設計、生産管理には情報技術の利用が不可欠であることから、プログラミング、数値解析・シミュレーション、コンピュータ支援設計、AI・機械学習に関する教育も取り入れています。

本学科の卒業生への評価は高く、就職時の求人数は卒業生の数を大幅に上回り、学生は各自が希望する輸送機器、重機・重工業の他、多様な業種の企業および研究機関等に就職しています。また、多くの学生が大学院修士課程、博士後期課程に進学して、より高度な勉学と研究に励んでいます。



大型円筒部材の疲労強度試験


 船舶運動性能試験水槽
(長さ38.8m×幅24.4m)

 レーザ・アーク
ハイブリッド溶接
実験装置


船の進水式



世界で地球規模の問題に取り組む

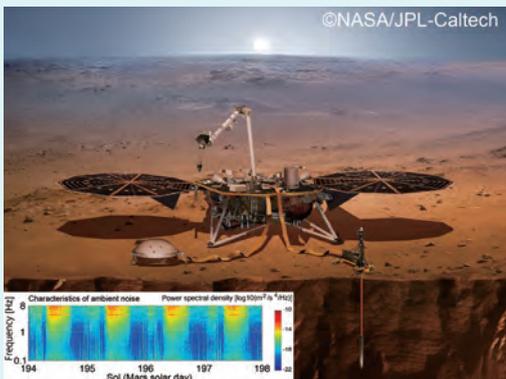


国際フィールド調査 チェコ国Jeronym銀鉱山跡

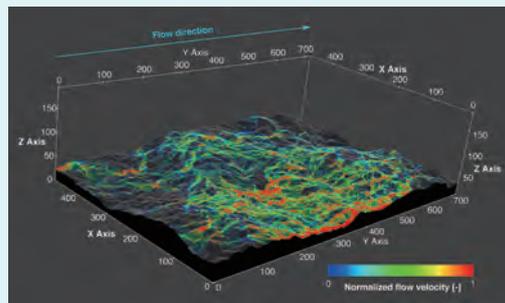
地球資源システム工学科は、私たちの豊かな生活を支えている地球の資源・エネルギーに関する様々な課題に取り組んでいます。石油・天然ガス・鉱物・地熱など、私たちの暮らしに不可欠のエネルギー資源や、素材の原料となる地下資源の探査・開発・採掘・分離回収のほか、防災、リサイクルなどの研究を実施しています。またCO₂の削減に向けたCO₂地中貯留の研究、メタンハイドレートや海底熱水鉱床（レアメタル）といった新しい資源エネルギーの獲得に向けた研究、さらには地球を飛び出して、月や火星といった宇宙空間での資源探査・開発に向けた研究も実施しています。

当学科では資源・エネルギーの探査から開発、利用、修復といった

一連の資源開発プロセスをカバーできるように研究室が配置されており、資源・エネルギーに関する専門的な知識を幅広く身につけることができます。3年次には国内外の関連企業でインターンシップが予定されており、フィールドワークを通して資源・エネルギーに関する技術を体験することができます。研究室では日常的に多くの留学生と関わり、議論しながら卒業研究に取り組めます。幅広い学問分野を扱うことから、専門性を深めるためには自発的・主体的な学習姿勢が欠かせません。当学科で挑戦を続ける学生には、世界での活躍への扉が常に開かれています。



火星での資源探査



地下内部の流体挙動



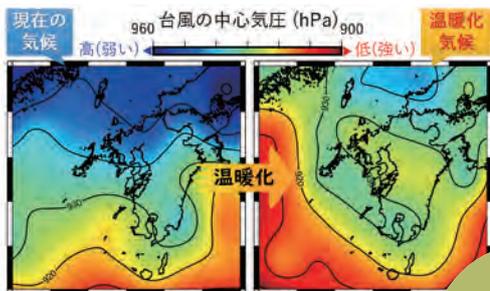
火口の噴気活動調査



サステナブルで豊かな国土や都市を構築するための技術を学ぶ

気候変動が国土に及ぼすリスクの評価

地球温暖化や気候変動が、私たちの生活に及ぼす影響を評価し、低炭素社会、安全・安心な国土・都市を実現するための技術、施策について研究しています。



災害に強いインフラの構築

急峻な谷にかかる、新阿蘇大橋は、高度な土木技術により、標準的な工事期間に比べて1年半も短縮して完成しました。再び地震に見舞われても、揺れにくく、復旧しやすい構造が採用されました。



サステナブルな国土・都市の構築

災害時の被害予測シミュレーション

災害の危険性をビッグデータを用いて予測し、人的被害がゼロとなるよう、VR/AR技術を用いた「見える化」技術の開発、避難支援システムの開発などを行っています。



環境再生プロジェクト

川岸がコンクリートで固められ、生き物も少なく、水際に近づくことも困難だった上西郷川を、自然豊かで多くの人に利用される川に再生しました。



土木工学は、私たちが安全・安心で豊かな暮らしを営むために必要となる国土の基盤（都市、道路、河川、海岸、山林など）を整備・保全するための幅広い学問です。頻発する災害に対する防災技術、人工的な都市と自然や生態系との調和を目指すグリーンインフラ、ビッグデータを使った次世代型の交通サービス、耐久性のある構造物を構築するための新素材の開発なども土木工学の分野です。

土木技術は人類の歴史とともに発展してきました。道路、橋、上下水道、鉄道、港などによって現代の社会は成り立っています。世界では、環境・社会・経済の問題が山積しています。土木工学は、伝統

的な技術を継承・発展させるとともに、最先端の技術（AI、自動運転、5Gなど）を取り入れながら、50年後、100年後、その先の未来を見据えたサステナブルで豊かな国土や都市を構築していきます。

変化の激しい世の中で、さまざまな技術やアイデアを結びつけ、国内・国外を問わず、それぞれの地域で市民の暮らしを豊かにできる土木技術者（Civil engineer）が必要とされています。土木工学科では、卒業後に第一線でCivil engineerとして活躍できるよう、専門知識だけでなく、マネジメント力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、倫理観を養うことができます。



プロジェクトものづくり

土木技術者の重要な仕事のひとつは、世の中に役立つインフラ（インフラストラクチャーの略）に関する「もの」を作り出すことです。「プロジェクトものづくり」の実習では、実際に橋などを作ります。土木材料学や構造力学などで学習したことを基礎として、与えられた条件のもとで製作課題に取り組みます。



土の圧縮強度コンテスト

安全性の高い土木構造物を建設するためには、まず、建設地点の地盤の強度を正しく求めたり、補強が必要な場合には、対策方法について考える必要があります。コンテストでは、軽くて強い地盤材料の開発プロセスを実践するため、グループで協力しながら材料設計、試験体の作製を行い、強度などを競い合います。



野外調査実習

伊都キャンパスは自然豊かな糸島半島の中央に位置しており、山から河川を経て海に至るまでの水の循環、生態系の管理、自然環境の利用・保護について実際に体験・実習を行いながら学びます。さまざまな調査を通じて、人間の経済活動による環境へのインパクトを理解しながら、災害や環境問題を克服する方法について学びます。



住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す建築家や技術者、研究者を養成します。



Workick-City Momochi / 福岡国際建築コンペティション最優秀賞

建築は使いやすく快適で、美しく、しかも丈夫でなければなりません。建築学は、技術的問題から社会的・文化的問題にまで及ぶ極めて広い領域にかかわっており、建築・都市の分野に携わる者は、これらの多様な要素を総合的にまとめあげてゆく能力が必要とされます。そして、総合的な技術・知識の理解が要求されるばかりでなく、芸術的な造形能力も求められます。建築学科では、住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間をつくり出すために、建築・都市の文化を歴史的に顧みながら、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適・健康な環境をつくり出すための環境工学、壊れない建物をつくるための建築

構造技術、建築を構成する材料とその施工技術などについて教育・研究を行っています。

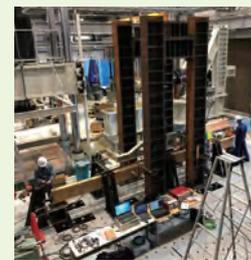
本学科のカリキュラムは、建築学に関わる諸知識を体系的・理論的に学ぶための講義科目、具体的なデザイン手法を習得するための設計演習科目、専門的知識を体得するための演習・実験科目などがバランスよく組み込まれ、充実した内容となっています。このような教育を通じて、工学的技術や建築文化についての幅広い教養を修得し、国際社会の第一線で活躍する建築家や技術者、研究者を養成します。



BeCAT Spring School 2021 最終講評会



環境シミュレーションによるZEB(ゼロエネルギーハウス)の実現



木質梁の曲げ実験



地震被害(2016年熊本地震)

学部や学科を超えた出会いはきっと宝物になる！

九州大学「創造工房」は、学生の自主性、創造性を発揮する機会となる活動を積極的に支援しています。学生の自由な発想をもとに、創意・工夫を具現化する機会、機構を製作するためのワークショップを有し、工学部の支援のもとで運営されています。

プロジェクトの活動は学生に委ねられており、綿密な年間計画をたてて審査をパスした学生チームが活動資金を受けて創造工房で活動できます。現在は「PLANET-Q」、「学生フォーミュラ計画」、「ロボコンチームKURT」、「ヒューマノイドプロジェクト」の4チームが活動しています。

PLANET-Q

日々「放課後は宇宙開発」をテーマに、宇宙関係のあらゆることに関して活動を行っています。2014年からはハイブリッドロケットの製作を開始し、中間目標として『高度10kmへの到達』を目指して製作を続けています。今年から成層圏までバルーンを飛ばして宇宙と地球の様子を撮影するスペースバルーンプロジェクトにも着手しました。



- 2017 能代宇宙イベント MHIアワード(三菱重工賞)最優秀賞
- 2019 種子島ロケットコンテスト CanSat部門準優勝・安全賞
- 2021 3年ぶりとなる海打ちでの打ち上げと回収に成功



動画はコチラ

学生フォーミュラ計画

毎年9月上旬頃に開催される全日本学生フォーミュラ大会に向け、小型レーシングカーの設計・製作はもちろん、走らせるところも自分たちで行います。溶接や工作機械を使っての製作などは、工作が好きな人にとって素晴らしい体験になると思います。また、モーターショーやサーキットで展示活動を行ったりもしています。



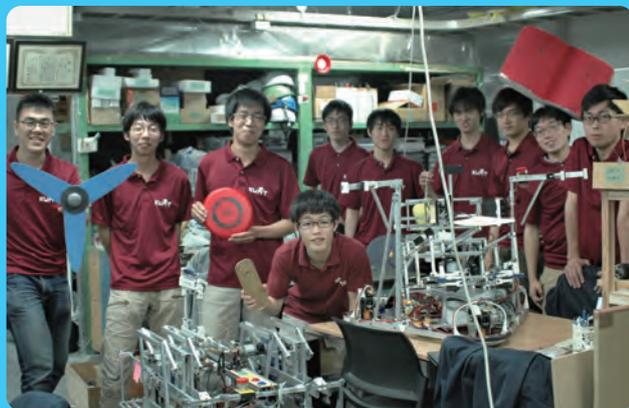
- 2017 全日本学生フォーミュラ大会 94チーム中74位
- 2018 全日本学生フォーミュラ大会 92チーム中70位
- 2019 全日本学生フォーミュラ大会 92チーム中71位



動画はコチラ

ロボコンチームKURT

メインの活動はロボット製作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。「NHK学生ロボコン」への出場をはじめ、夏休みの「九州夏ロボコン」の開催&出場、秋の「サイエンスワールド」への出展など、様々な大会やイベントに向け、メンバー丸となりロボット製作を行います。好きなだけモノづくりに打ち込めるのも魅力です。



- 2018 NHK学生ロボコン ベスト4・アイデア賞・特別賞
- 2019 NHK学生ロボコン ベスト4・デザイン賞
- 2020 キャチロボバトルコンテスト ファイナリスト進出

ヒューマノイドプロジェクト

「二足歩行ロボットの製作を通じたものづくりの基礎知識・技術の習得」と「競技大会や科学イベントでのエンジニア同士の交流」を目的としています。世界最大規模のロボット格闘競技大会「ROBO-ONE」での優勝を目標に掲げ、基本的にロボットの設計・加工・制御を一から行っています。ロボット作りを通して様々な知識を実践的に学べます。



- 2020 ROBO-ONE ベスト8 技術賞受賞
- 2020 ROBO-ON Light 準優勝
- 2020 ヒューマノイドカップ 2機体優勝・3位

世界とつながるチャンスはいくらでもある！

ELEP(イーレップ):Engineering Leaders English Program

米国カリフォルニア州「サンノゼ州立大学 I-Gateways」での英語研修を中心に、起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義やシリコンバレーにある大学やハイテク企業等へのフィールドトリップ等に参加しながら英語力をブラッシュアップする工学系学生向けの5週間の短期プログラムです。英語力アップに加えて、アントレプレナーシップ(起業家精神)の実態に触れ、イノベーションが起こる仕組みを学ぶことができます。(※コロナウイルスの影響により2020年度はオンラインで実施)



ELEP留学体験談



エネルギー科学科4年
唐津東高等学校(佐賀県)出身
中村 省吾さん
留学先:サンノゼ州立大学(アメリカ)

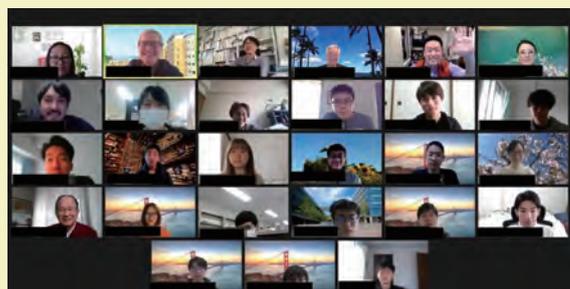
オンラインでも価値ある留学プログラム

ELEPは2年生のときにポスターを見て知り、当時から魅力を感じていました。金銭的理由で参加を見送っていましたが、今回オンライン形式で費用負担も少なかったため参加することに決めました。

ELEPで最も刺激になったことは、シリコンバレーで働く方々の講演を通してアメリカと日本の考え方の違いを知り、経験に基づくアドバイスを頂いたことです。現地の優秀な学生の就職に対する考え方も知ることができ、自身の将来ややりたいことをより深く考えるきっかけになりました。また、今回の参加で英語で自分の考えを話したり、他人の意見を聞いたりして、英語を使う楽しさを感じました。

オンライン形式でも工夫された授業で学べるようになっていましたし、講演者の方の協力もあって充実したプログラムになっていました。費用対効果は最高です。他には、基本授業は午前のみだったので、普段の学期中と変わらぬ生活で不安やストレスなく過ごせました。オンラインにおいても特に価値のあるプログラムの一つだと思います。

ELEPプログラムは、将来のキャリアの幅を広げ、今後どんなことを意識していくのか、将来に向けてどんな取り組みをしていくのかを考えるきっかけになります。早めに参加することで今後の大学生活をどう過ごすかが変わると思います。



Q²PEC(キューベック):

Qshu-Queensland Program for English Communication

オーストラリア屈指のクイーンズランド大学付属語学学校ICTE-UQ(Institute of Continuing & TESOL Education)において世界各国からの留学生と交流しながら行われる工学系学生向けの5週間の短期プログラムです。工学系の研究室訪問やフィールドトリップなどにも参加しながら実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学位留学に向けたモチベーションアップも目指せます。(※コロナウイルスの影響により2020年度はオンラインで実施)



Q²PEC留学体験談



機械航空工学科2年
宇部高等学校(山口県)出身
松原 響子さん
留学先:

クイーンズランド大学付属語学学校ICTE-UQ(オーストラリア)

オンラインで自分の英語に自信を持てた

留学で最も印象に残ったことは、英語を勉強する方法がたくさん設けられていたことです。オンラインでの留学だったため、大学の授業のような留学になるだろうと予想していたのですが、クラスメイトとのディスカッションはもちろんのこと、双六や早押しクイズをしたり、動画を見たり、歌を聞いたりして、留学であるにもかかわらず英語を遊びのように学べました。英語を学ぶ意欲も湧きましたし、とても楽しかったです。

海外への留学は、不安なことがたくさんあり、かなりの勇気が必要となりますが、今回のオンライン留学を経験したことにより、海外留学への壁が少し低くなったと思います。また、私の拙い英語でも、海外の方には難なく伝わっていたので、自分の英語に自信を持たせ少々文法などを間違えても気にしないで話すべきだということが分かりました。そのため、今後英語を話すときは、恥ずかしがらずに自信を持って話せるようになるだろうと思います。

まず、自宅にいながらにして留学ができるので交通費や宿泊費や食事がかかりません。お金がかからないと、留学という壮大なプロジェクトにもチャレンジしやすいです。他にも、授業時間以外は普段通りの生活なので、気疲れすることなく留学できます。また、いきなり海外に行くのはかなり勇気がいりますが、オンラインなら気軽に参加できます。



九州大学での“学び”が、社会を動かす力になる。

永松 博晶さん

九州旅客鉄道株式会社 建設工事部施設課 勤務
(都市共生デザイン専攻 2012年3月修了 工学部 建築学科 卒業)



建設工事部施設課に所属し、筑肥線に新しく新設された新駅「糸島高校前駅」と篠栗線・篠栗駅の「自由通路新設工事」、九州新幹線の「新水俣駅改良工事」を担当しました。JR九州で行う仕事は公共性/社会性が非常に高く、責任も大きいですが、その分やり遂げたときの達成感は想像以上で、やりがいの大きさを感じています。九州大学で培った「自分の頭で考える力」と「プレゼン力」は、現在の仕事をする上で非常に役立っています。

花木 陽人さん

株式会社鴻池組 土木事業総轄本部 環境エンジニアリング本部 環境企画部 勤務
(都市環境システム工学専攻 2015年3月修了 工学部 地球環境工学科 卒業)



私は環境関連事業について設計や技術開発を行っています。また、汚染された土壌や地下水などを浄化するための新技術や、災害廃棄物や不法投棄廃棄物を確実に分別するための新技術の開発も行っています。地球環境工学科の建設都市工学コースで学んだ土木の知識、研究室で手掛けた廃棄物全般に関する研究は、現在の仕事に大いに生かされています。当初から環境に関する仕事がしたいと思っていた私にとって、九州大学での学びは非常に有意義でした。

山中 友輔さん

株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 無線アクセス開発部 勤務
(電気電子工学専攻 2018年3月修了 工学部 電気情報工学科 卒業)



皆さんの携帯電話に電波を送るためのアンテナ設備の設計をしています。10年前は夢でしかなかった世界を現実にするためには通信ネットワークの構築が必要不可欠であり、その業務に携わることで常に「ワクワク」を感じています。私が九州大学で経験した、研究テーマの考案から研究計画の立案、実験、実験結果の分析、対外発表までの一連のプロセスは、仕事のゴールを定め、そこに至るまでに何をすればいいのかを考える習慣として身につけています。

鈴木 貴人さん

株式会社フリーランス 代表取締役
(エネルギー量子工学専攻 2010年3月修了 工学部 エネルギー科学科 卒業)



小規模企業専門に、フリーの専門家による業務代行チームを提供する会社を立ち上げました。私は昔から人の役に立つことが好きで、エネルギー科学科を選んだ理由もエネルギー問題の解決に貢献することで多くの人の役に立てると思ったからです。分野こそ違いますが、今の仕事も多くの人々の問題を解決し役に立てる仕事だと思っています。経営は大学の研究活動に似ていて、大学の論文制作や学会発表の過程で学んだものが私のスキルの基礎になっています。

浅野 道春さん

日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 厚板部 厚板技術室 勤務
(材料物性工学専攻 2017年3月修了 工学部 物質科学工学科 卒業)



厚板とは板厚4.5~200mmの鉄鋼製品の総称です。主な業務は、設備能力を最大化する操業条件の検討や大量の操業データから時間や素材の効率を極限まで高める「生産管理」と、更なる能力向上を図りながら最も効果的な投資を行う「設備投資」で、スケールの大きさにやりがいを感じています。研究室で学んだ鉄鋼材料の知識は様々な場面で活かされていますし、研究活動を通じて「仮説を立てて検証する」という仕事の基礎も身につけることができました。

塘 陽子さん

九州大学 大学院工学研究院機械工学部門 助教
(航空宇宙工学専攻 2019年3月修了 工学部 機械航空工学科 卒業)



ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを融合した新しい熱制御技術に関する研究を行うとともに、研究室で学生の研究指導も行っています。先生方や技術職員の方々、学生と一緒に試行錯誤を繰り返して有意義な成果へと結びついたときの喜びは計り知れません。九州大学での出会いと経験が研究者の道に進むきっかけであり、ここで培った経験と知識、人との繋がりは研究の基盤であり間違いなく一生の財産です。

主な就職先リスト

電気情報工学科

学部卒業後の主な就職先例
アドソル日進/オービック
/楽天/アイシン/ソフトウ
エア/オリンパス/ソニー
LSIデザイン/九州電力/
トヨタ自動車/スズキ/
JFEスチール など

大学院システム情報科学府
■情報理工学専攻
■電気電子工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
ソフトバンク/ディー・エヌ
・エー/ヤフー/日本IBM/
コナミアムズメント/野
村総合研究所/NTTドコ
モ/NHK/NEC/ソニー
/パナソニック/富士通/
日立製作所/三菱電機/
九州電力/JR東海/三菱
重工業/トヨタ自動車/日
産自動車/本田技研工業
/日本製鉄 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
KDDI/KDDI総合研究所
/チームAIBOD/富士通
研究所/富士通研究開発
中心有限公司/日立製作
所/ソニーLSIデザイン/
キオクシア/東京エレクト
ロニクス/三菱日立パワーシ
ステムズ/モリタホールディ
ングス/西日本プラント工
業/森永乳業/SEC
Research Institute/
Supercoil/鉄道総合技
術研究所/九州大学/西
南大学/東京大学/大分
工業高等専門学校 など

航空宇宙工学科

学部卒業後の主な就職先例
三菱重工/JAL/ANA
など

大学院工学府
■航空宇宙工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
三菱重工/川崎重工/
IHI/SUBARU/トヨタ/
日産/ホンダ/マツダ/三
菱自動車/デンソー/三
菱電機/日立/東芝/キ
ャノン/富士通/NEC/
大学/宇宙航空研究開発
機構(JAXA)/新明和工
業/住友精密 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
大学教員/宇宙航空研究
開発機構(JAXA)/国立
研究所/三菱重工業 など

材料工学科

学部卒業後の主な就職先例
トヨタ自動車/中部電力/
スズキ/山陽特殊製鋼/
京セラ/日本タンクステン
/ANA/日本製鋼所/中
部電力/公務員 など

大学院工学府
■材料工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
日本製鉄/JFEスチール
/神戸製鋼所/大同特殊
鋼/山陽特殊製鋼/日鉄
ステンレス/トヨタ自動車
九州/日産自動車/スズ
キ/本田技研工業/
SUMCO/三菱重工業/
キャノン/TOTO/三菱
電機/UACJ/デンソー
/パナソニック/住友電
気工業/日立製作所 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
九州大学/名古屋大学/
東京工業大学/横浜国立
大学/鹿児島大学/バン
ドン工科大学/モントリ
オール大学/日本原子力
機構/産業技術総合研究
所/日本製鉄/JFEス
チール/神戸製鋼所/大
同特殊鋼/山陽特殊製鋼
/ミネベアミツミ/住友電
工/TDK/三菱重工業/
日本精工/日立製作所
など

量子物理工学科

学部卒業後の主な就職先例
JFEエンジニアリング/
TOTO/マツダ/日立製
作所/日本原燃/原子力
規制庁/九州電力/西日
本鉄道/三井金属鉱業/
京セラ など

大学院工学府
■量子物理工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
九州電力/中国電力/関
西電力/東京電力/日本
原燃/日本原子力研究開
発機構/原子力規制庁/
西日本電信電話/東海旅
客鉄道/全日本空輸/三
菱重工業/タイキン工業
/トヨタ自動車/ソニー/
富士通/三菱電機/日立
製作所/富士電機/東
ソー/旭化成 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
三菱重工/九州大学/
日本原子力研究開発機構
/放射線医学総合研究所
/日立ハイテク/ロジス
/フランクフルト大学/広
島大学/島根県庁/三菱
原子燃料/旭化成/国立
天文台/東京大学/原子
燃料工業/核融合科学研
究所/富士電機/東芝/
リガク/北陸先端科学技
術大学院大学/京都大学
/原子力エンジニアリング
など

応用化学科

学部卒業後の主な就職先例
アドバンテック/イオンデ
イライト/鴻池組/双日/
力の源カンパニー/福岡
銀行など

大学院工学府
■応用化学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
三井化学/三菱ケミカル/
住友化学/花王/旭化成
/東レ/積水化学工業/
三菱ガス化学/東ソー/
AGC/パナソニック/京
セラ/住友ベークライト/
日東電工/三洋化成工業
/LIXIL/ADEKA/ニプ
ロ/キャノン/宇部興産
など

博士後期課程修了後の
主な就職先
三井化学/三菱ケミカル/
三菱ガス化学/花王/中
外製薬/旭化成/日産化
学/第一共立/JSR/積
水化学工業/日本ゼオン
/昭和電工/出光興産/
カネカ/シスメックス/助
教(九州大学)/博士研究
員(九州大学)/博士研究
員(立命館大学)/JSPS
海外特別研究員(ストラ
スブル大学)など

船舶海洋工学科

学部卒業後の主な就職先例
今治造船/尾道造船/関
西設計/クボタ/佐世保
重工業/トヨタ自動車/名
村造船所/日立製作所/
福岡造船/ヤマハ発動機
など

大学院工学府
■船舶海洋工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
今治造船/大島造船所/
川崎重工業/JFEスチ
ール/ジャパマリンユニ
テッド/新来島どつく/新
来島サノヤス造船/常石
造船/戸田建設/トヨタ
自動車/名村造船所/日
揮/日本海事協会/日立
製作所/本田技研工業/
三井E&S造船/三井海洋
開発/三菱重工業/三菱
造船/ヤマハ発動機 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
海上技術安全研究所/九
大工学術研究員/佐世保
重工業/JFEスチール/ジ
ャパマリンユニテッド/
新来島サノヤス造船/水
産大学校/日本海事協
会/日本学術振興会特別
研究員(PD)/日本製鉄/
三井E&Sマシナリー/三
菱重工業 など

化学工学科

学部卒業後の主な就職先例
国家公務員/九州電力/
久原本家/小林製薬 など

大学院工学府
■化学工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
旭化成/AGC/味の素/
アステラス製薬/出光興
産/宇部興産/花王/化
学及血清療法研究所/カ
ネカ/九州電力/クラレ
/JSR/昭和電工/日鉄ケ
ミカル&マテリアル/日
本製鉄/住友化学/住友
ベークライト/中外製薬/
東ソー/東洋エンジニア
リング/東レ/日揮/ニプ
ロ/日本触媒/日本ゼオン
/パナソニック/富士フ
イルム/三井化学/三菱ケ
ミカル/三菱重工業 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
大阪大学/鹿児島大学/
九州大学/京都大学/熊
本大学/東京工業大学/
東京農工大学/産業技術
総合研究所/味の素/ア
ステラス製薬/大塚製薬
/杏林製薬/武田薬品工
業/中外製薬/ニプロ/
パナソニック など

地球資源システム工学科

学部卒業後の主な就職先例
三菱マテリアル/JX金属
石油資源開発/国際石油
開発帝石/コスモエネル
ギーホールディングス/九
州電力/三菱商事/伊藤
忠商事/みずほファイナ
ンシャルグループ/福岡銀行
福岡県庁/福岡市役所
など

大学院工学府
■地球資源システム工学専攻
■共同資源工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
JX金属/三菱マテリアル
/住友金属鉱山/太平洋
セメント/DOWAホル
ディングス/JFEMネラ
ル/出光興産/石油資源開
発/国際石油開発帝石/
コスモエネルギーホル
ディングス/東燃ゼネラル
石油/九州電力/東京電
力ホールディングス/電源
開発(JPOWER)/西部
ガス/大阪ガス/千代田
化工建設/清水建設/日
立造船/小松製作所/日
立建機/三菱商事/住友
商事/丸紅/三井物産/
伊藤忠商事/全日本空輸
/日本航空 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
産業技術総合研究所/電
力中央研究所/自然エ
ネルギー財団/wing/日
鉄鉱業/石油天然ガス・金
属鉱物資源機構(JOGMEC)
/石炭エネルギーセン
ター(JCOAL)/福岡県健康
環境研究所/九州大学/室
蘭工業大学 など

融合基礎工学科

学部卒業後の主な就職先例
令和3年度新設学科
総合理工学府
■総合理工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
九州電力/三菱電機/タ
イキン工業/トヨタ自動車
/トヨタ自動車九州/JFE
スチール/NTT DOCOMO
/デンソー/マツダ/富士
通/川崎重工/村田製作
所/神戸製鋼所/豊田自
動織機/TOTO/ソニー
セミコンダクタ九州/ヤマ
ハ発動機/三菱重工業/
京セラ/古河電工 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
三菱重工業/三菱マテ
リアル/出光興産/三菱電
機/旭化成/松下電工/
住友化学/日立製作所/
日立ハイテクノロジーシ
ズ/東芝/三菱化学/三井
化学/富士ゼロックス/ニ
コン/セイコーエプソン/
住友金属鉱山/三井金属
鉱業/NTTドコモ/産業技
術総合研究所/有明工業
高等専門学校/久留米工
業高等専門学校/北海道
大学/群馬大学/東北大
学/九州工業大学/山口
大学/九州大学 など

土木工学科

学部卒業後の主な就職先例
国家公務員(国土交通省
、環境省など)/地方公務
員(県庁、市役所など)/鹿
島建設/大林組/清水建
設/大成建設/前田建設
工業/JR各社/九州電力
など

大学院工学府
■土木工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
国家公務員(国土交通省
、環境省、農林水産省など)
/地方公務員(県庁、市役
所など)/高速度道路各社
(NEXCOなど)/JR各社
/電力各社/西部ガス/
NTT西日本/日本工営/
建設技術研究所/オリ
エンタルコンサルタンツ/
鹿島建設/関西電力/九
州電力/九州旅客鉄道/清
水建設/大成建設/東京
建物/東京電力ホール
ディングス(東京電力エ
ナジーパートナー)/戸
田建設/長谷川コーポレ
ーション/東日本旅客鉄
道/福岡市役所/万科
(VANKE)/山下設計/
山下PMC/NetEase Games/noiz
など

博士後期課程修了後の
主な就職先
九州大学/防衛大学校/
福岡大学/早稲田大学/
日立製作所/コニカミ
ノルタ/Gadjah Mada Uni
versity/Hasanuddin
University/同済大学/
西南交通大学/中南大
学 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
有明工業高等専門学校 助
教/JSPSの外国人特別
研究員/近畿大学産業理
工学部 助教 など

機械工学科

学部卒業後の主な就職先例
オービック/九州電力/九
州旅客鉄道/シャープ/
全日本空輸/トヨタ自動車
/日本航空/日本車輛製
造/三井住友銀行/ヤ
ンマー 建機 など

大学院工学府
■機械工学専攻

修士課程修了後の
主な就職先
IHI/JFEスチール/
SUBARU/川崎重工業/
関西電力/九州電力/ク
ボタ/小松製作所/住友
電気工業/デンソー/ト
ヨタ自動車/トヨタ自動車
九州/日産自動車/日本精
工/日本製鉄/日立製作
所/ファンック/プリチ
ストン/本田技研工業/マ
ツダ/三菱重工業/三菱電
機/安川電機 など

博士後期課程修了後の
主な就職先
IHI/JAXA/九州大学ほ
か国立大学法人/トヨタ
自動車/西島製作所/日
産自動車/日本製鉄/三
菱重工業 など

建築学科

学部卒業後の主な就職先例
愛媛県庁/タマホーム/
東京建物/ニトリ/日本
ERI/農林水産省 水産庁
/福岡県庁/福岡市役所
/フジタ/前田建設工業
/ヤフー/DRAFT/
Mistletoe Japan合同
会社 など

大学院人間環境学府
■都市共生デザイン専攻
■空間システム専攻

修士課程修了後の
主な就職先
旭化成ホームズ/梓設計
/アール・アイ・エー/石
本建築事務所/NTTデータ
/NTTファシリティーズ/
奥村組/大林組/オリ
エンタルコンサルタンツ/
鹿島建設/関西電力/九
州電力/九州旅客鉄道/清
水建設/大成建設/東京
建物/東京電力ホール
ディングス(東京電力エ
ナジーパートナー)/戸
田建設/長谷川コーポレ
ーション/東日本旅客鉄
道/福岡市役所/万科
(VANKE)/山下設計/
山下PMC/NetEase Games/noiz
など

博士後期課程修了後の
主な就職先
有明工業高等専門学校 助
教/JSPSの外国人特別
研究員/近畿大学産業理
工学部 助教 など

Facts and Figures of School of Engineering, Kyushu University

(As of May 1, 2021)

The number of students



The number of students

3,476

The number of female students **357**

The number of University students **11,699**



83.7%
enters graduate schools.

QS World University Rankings by Subject in 2021

Three subject areas ranked in the top

100

in the QS World University
Rankings by Subject in 2021

Ito Campus site area

Fukuoka YAHUOKU! DOME
× **39.3**

YAHUOKU! DOME = 69,130m²

Area of Ito Campus
2,717,130m²

The largest Campus in Japan

Total area(including affiliated facilities)
75.81 million m²

Number of faculty members



479

Total number of
Kyushu University faculty members

2,362



Inbound

Number of international students

163

Number of countries/regions of
international students

19



Outbound

Number of students studying abroad



Ratio of job offers to students

Graduate School of Engineering



4.86
times higher

Graduate School of Information Science and Electrical Engineering



12.3

times higher

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

Population increase



The shortness of the
access time to the airport
Among 13 cities in Asia

Ratio of youth



The number of
protected trees Among
ordinance-designated
cities

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

Number of international
students in
Fukuoka Prefecture



nationwide

Food affordability



among 21 major cities

As of 2018

Fukuoka, as revealed through data

by Fukuoka City official website

Rental housing
affordability



among 16 major cities

As of 2018



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部

CAMPUS GUIDE 2021

発行/令和3年7月 編集・発行者/九州大学工学部
〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL 092-802-2728
<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>

